

アプリケーションカタログ エポキシ樹脂の当量

関連業界	:	プラスチック・ゴム
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/酸化還元滴定
関連規格	:	JIS K7236、ISO 3001

1. 概要

エポキシ樹脂の当量測定は、「JIS K 7236-2001 エポキシ樹脂のエポキシ当量の求め方」などに基づいて行います。

試料をメチルエチルケトンに溶解後、臭化 n-ヘキサデシルトリメチルアンモニウム酢酸溶液を加えた後、0.1mol/L 過塩素酸酢酸溶液で滴定し、指示薬であるクリスタルバイオレット酢酸溶液の変色により得られた滴定曲線上の変曲点を終点とします。

終点までの滴定量から、エポキシ樹脂の当量を算出します。

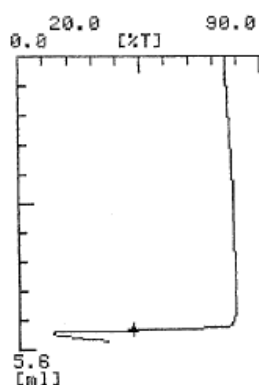
2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置 (プリアンプリファイア: PTA)
電極	:	光度センサ 干渉フィルタ (630nm)

3. 試薬

滴定液	:	0.1mol/L 過塩素酸酢酸溶液 (f=1.00)
滴定溶媒	:	メチルエチルケトン (2-ブタノン)
添加試薬	:	20% 臭化 n-ヘキサデシルトリメチルアンモニウム酢酸溶液 (臭化 N-セチル-N, N, N-トリメチルアンモニウム)
指示薬	:	0.1% クリスタルバイオレット酢酸溶液

4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—

	Sample (g)	Titer (mL)	Conc. (%)
1	0.1040	5.5698	186.72
2	0.0980	5.2639	186.17
3	0.1181	6.3379	186.34
Average			186.41
S.D.			0.28
R.S.D.			0.15

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>